

平成20年4月9日

キャンドルナイト in たかつき 2008 開催企画書

キャンドルナイト in たかつき 2008 実行委員会

○趣旨・目的

1997年、地球温暖化防止会議(COP3)において採択された「京都議定書」が、2005年2月16日に発効し、そして、「京都議定書」に定められた拘束期間(2008年～2012年)を迎えました。

地球人としての責務を果たし、暮らしやすい地球を子ども達へ贈るため、私たちは「大量生産・大量消費・大量廃棄」の急テンポな物質生活から抜け出て、ものを大切に、ものに優しくする、思いやり深い生活を自ら取り組むとともに、市民・事業者に『でんきを消してスローな夜を』をテーマに省エネルギーを訴えます。

また、キャンドルナイト チャリティーコンサートを開催し、コンサートのなかで募金を集め、環境保全事業や子ども支援事業に取り組むNPO・NGOへ寄付します。

○啓発イベント

1) キャンドルナイト in たかつき 2008

テ ー マ 「でんきを消して スローな夜を」

目 的 市民・事業所にライトダウンなど省エネ活動を呼びかける。

呼びかけ期間 6月7日(土) ～ 22日(日)

呼びかけ地域 高槻市全域

呼びかけグッズ ・竹灯籠とローソク配布

配布の方法は各種団体に呼びかける。

2) 講演会

目 的 食を通して、「大量生産・大量消費・大量廃棄」の生活の気付きを訴える。

開催日時 6月7日(土) 午後2時～午後4時

開催場所 高槻市城内公民館(2階多目的・視聴覚室)

参加費 無料

タイトル 「もったいないことしてまっせ」

講 師 福田 正巳氏 アラスカ大学教授

講演内容 原油生産のピークは2004年であったが、FAOによればこの年は世界の食糧生産のピークでもあった。地球の環境異変で世界各地にて洪水と干ばつが多発している。

日本の食料自給率39%は先進国で最低の水準にある。こうした状況にもかかわらず、日本では食べ残しや食料の廃棄は年間2000万トンにも達して世界一と言える。

いま日本の食料の安定確保と食の安全とが問われている。

昨年二月に札幌でのイベント「サッポロインタナショナルナイト」では、留学生と日本の学生が「もったいない」について話し合った。そこで見えてきたのは、日本での資源の無駄使いであり、その解決の鍵が「もったいない」にあることだ。そこで国際比較をしながら食の「もったいない」について問い直してみる。

3) キャンドルナイト チャリティーコンサート

目 的 星のかがやき、蛍のほのかな光、竹灯籠の温かな光のなかに、自分以外のためにできる何かを見つけ出す。

●フレンズコンサート (蛍の夕べ)

開催日時 6月14日(土) 雨天 15日(日)

午後7時 ~ 午後8時30分

開催場所 フレンズパーク (撰津峡 上の口) 私設

出演者 ママさんコーラス・オカリナグループ・篠笛グループ

映像 人類を育んだ地球46億年の旅

●あくあぴあコンサート

開催日時 6月21日(土) 雨天 28日(土)

午後7時 ~ 午後8時30分

開催場所 あくあぴあ芥川

出演者 音楽団管楽部・芥川高校和太鼓

映像 人類を育んだ地球46億年の旅